

## ■著者紹介

赤池 一将 (あかいけ かずまさ)

1956年生まれ。中央大学法学部、同大学院、エクス・マルセイユ第三大学第三期（博士）課程 DESU（1986）、高岡法科大学教授を経て、現在、龍谷大学法学部教授。その間、ポー大学（2009）、ポワチエ大学（2015、2019）、エクス・マルセイユ大学（2018-2019）の各客員教授、法と刑事制度に関する社会学研究センター（CESDIP、パリ）客員研究員（2009-2010）、日本犯罪社会学会理事、フランス語圏刑事法学者会議副会長を務める。

編著等として『刑事施設の医療をいかに改革するか』日本評論社（2020）、『宗教教誨の現在と未来：矯正・保護と宗教意識』本願寺出版社（2017）、『矯正施設における宗教意識・活動に関する研究—その現在と歴史』日本評論社（2011）、『刑事法入門 第二版』法律文化社（2011）ほか。